



莊吾渡場之図



かちかち山



新橋ステーション

小林清親と近代浮世絵

令和4年度秋季特別展 栃木県那珂川町姉妹都市交流展



上野公園画家写生図



千ほんくい両国橋



御茶水壺

所蔵はすべて那珂川町馬頭広重美術館

令和4年 11月1日(火) ~ 12月4日(日)

休館日 / なし

開館時間 / 10:00~17:00(入館は16:30まで)

入館料 / 一般300円(250円) 小・中学生150円(100円) ※ () 内は20名以上の団体料金

無料入館日 / 令和4年11月12日(土)・13日(日)、26日(土)・27日(日)

特別協力 / 那珂川町馬頭広重美術館

後援 / NHK大津放送局 **BBC** **びわ湖放送** 朝日新聞大津総局

京都新聞 産経新聞社 滋賀報知新聞社

中日新聞社 毎日新聞大津支局 読売新聞大津支局



愛荘町立歴史文化博物館

〒529-1202 滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺878番地 TEL 0749 (37) 4500

①光線画の誕生

初めての光線画は明治9年。



(上野公園画家写生図、那珂川町馬頭広重美術館所蔵)

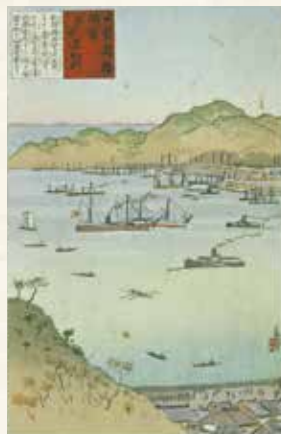
暗さの中の淡い光



(柳原夜雨、那珂川町馬頭広重美術館所蔵)

②風景画も描いています

軍港内部の蒸気船



(日本名勝図絵 横須賀造船所、
那珂川町馬頭広重美術館所蔵)

三枚続の冬景色



(東京名所真景之内 如月 待乳山雪の黄昏、
那珂川町馬頭広重美術館所蔵)

近代の浮世絵師 小林清親

③清親の作品はその他にも!!

戯画や



(壹人六面相斯が平常の
貌ですテ、那珂川町
馬頭広重美術館所蔵)

動物画、



(雪南天雀図、那珂川町
馬頭広重美術館所蔵)

こんなユーモアなものまで!!



(ろくろ首、那珂川町馬頭広重美術館所蔵)

小林清親とは?

小林清親(1847-1915)、江戸時代後期に生まれ、明治期に活躍した浮世絵師です。

明治9年(1876)に、浮世絵の新たな表現方法である「光線画」を用いた作品を発表したことにより、彼の名は一躍知れ渡ることになりました。

光の描写が緻密に描かれた昼夜の風景画以外にも、戯画やポンチ画などの作品や美人画、肉筆画など様々な作品を手掛けています。

関連講座

「小林清親と光線画」講師:長井裕子 氏

(那珂川町馬頭広重美術館 主幹・学芸員、国際浮世絵学会常任理事)

日時:令和4年11月20日(日) 14時~

場所:愛荘町立歴史文化博物館 企画展示室

参加費:無料(要入館券)

定員:30名(先着順)

応募方法:電話(0749-37-4500)にて受付。

ご観覧にあたり、新型コロナウイルス感染予防・拡散防止に伴う皆様のご理解とご協力をお願いします。

● 発熱・咳込み等の症状がある方は観覧をお控えください ● マスクの着用をお願いします ● 手洗い・手指のアルコール消毒にご協力ください